

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 「本はともだち おかしばなしをよもう おかゆのおなべ」

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1・2	・外国の昔話について、知っている話を交流する。 ・教師が用意した外国の昔話の絵本から、読みたい昔話を決める。 ・教師がViscuitで作った「おかゆのおなべ」の紹介を観て、学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。
2	3・4	・「おかゆのおなべ」について、心に残ったところ（おもしろかったこと）を友達と交流する。 ・「おかゆのおなべ」について、物語に出てきた登場人物や内容の大体を読み取る。
3	5～7	・Viscuit アプリを使って、読んだ外国の昔話の紹介するプログラミングを作る。
4	8 (本時)	・Viscuit アプリで作成した本の紹介を、友達と伝え合う。
5	9	・外国の昔話について、本の紹介カードを書く。

3 本時について (8/9)

(1) ねらい

Viscuit アプリで作成した外国語の昔話について紹介し合うことを通して、場面の様子や登場人物の行動を視点とした物語の「おもしろさ」を共有することができる。

(2) 評価規準

仲間のViscuit アプリで作成した外国の昔話の紹介から、場面の様子や登場人物の行動を視点に、おもしろさを伝えている。

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 ○Viscuit で作った本の紹介を使ってグループの友達に紹介をすること確認する。	準備するもの： 児童用タブレット PC 大型モニター、教師用タブレット PC
	2 学習課題を設定する。 じぶんのよんだおかしばなしをビスケットでともだちにしようかいして、かんそうをつたえあおう。	【ICT 活用の工夫】 ・教師が作成した本の紹介を大型提示装置で全体に示し、本時の学習の見通しがもてるようにする。
展開	3 課題解決の見通しを立てる。 ○教師が作ったViscuitでの本の紹介を見て、おもしろさを味わう視点（登場人物の行動・好きな場面や面白かった場面）を明確にする。	・紹介する側も「誰が何をしたのか」「どんなことが起きるのか」を話すことで、おもしろさが伝わることを確認する。
	4 グループで紹介し合う。 ○自分の画面を見せながら紹介する。聞く人は感想を伝える。 ・～をしてしまう登場人物がおもしろい。 ・最後に、～になるところが、確かにおもしろい。	【ICT 活用の工夫】 ・Viscuit で作成した作品を提示しながら本の紹介をする。 ・「おもしろかったよシール」と「わかりやすかったよシール」を児童一人にそれぞれ1枚ずつ準備する。
	5 おもしろい紹介をしていたグループの友達を見つける。 ○読んでみたいと思った友達にシールを渡す。	
終末	6 学習をまとめる。 おはなしにでてくるひやどうぶつ、すきなばめんやおもしろかったばめんではなしあうと、ものがたりがたのしくなる。 ・○○さんの作った紹介が面白かったから、読んでみたいと思いました。 ・もっといろいろな外国の昔話を図書室で借りたいと思いました。	【ICT 活用の工夫】 ・紹介する児童の作品を大型提示装置で提示することで、全体で共有できるようにする。 ・紹介する絵本を手元に用意しておくことで、仲間の紹介から興味がわいた本をすぐに読むことができるようにしておく。